



⇒E-mail fureainpo@gmail.com
⇒ホームページ <http://www.fureai-support.jp/>

新春

■法 人 事 務 所・ア ト リ エ
〒976-0042 相馬市中村字北町1-8
TEL 0244 (36) 5420
FAX 0244 (26) 5424

●デイサービス友遊(北 町)
TEL 0244 (26) 5424

●デイサービス友遊(南飯淵)
TEL 0244 (36) 3582

●中央児童センター(ポニークラブ)
TEL 0244 (35) 2008

●飯豊小放課後児童クラブ(ひまわりクラブ)
TEL 0244 (37) 8870

●日立木小放課後児童クラブ(めだかクラブ)
TEL 0244 (35) 3400

●磯部小放課後児童クラブ(げんきクラブ)
TEL 0244 (32) 1787

●八幡小放課後児童クラブ(なのはなクラブ)
TEL 0244 (26) 9011

●相馬こどものみんなの家
TEL 0244 (35) 4700



法人事務所・アトリエ玄関アプローチ

— 新春合同メッセージ —



2021年・令和3年・辛丑年
今年もどうぞよろしくお願いいたします。



6年生・中学生とデイサービスの皆さん

げんきでいこうみんなともだち！！



イラスト：かがいそうけいきょうしつ of the 皆さん。書は友美子先生

2021年 新年に寄せて・・・

新型コロナウイルスの脅威が世界を覆った昨年。往来は制限され、集うことも触れ合うことも困難な状況が続き生活が一変したコロナ禍と、どう向きあえばいいか・・・そんな状況下でも、新しい年を迎えるにあたって、今年も今年こそは・・・と、コロナ禍の制限の多い中でも、夢は大きく描こう。小さな幸せが大きな喜びになりますように・・・と願います。

平成24年7月に南飯淵にデイサービス友遊、翌年は北町にデイサービス友遊を開設しましてから、訪問介護事業所友遊、介護タクシー友遊、居宅介護支援事業所友遊も加わり現在に至り多くの皆さまにご利用いただいております。利用者様・家族の方の想いや願いを大切に、より安心して生活できるリンクされたオアシスづくりを構築していきたいと思っています。

中央児童センターの管理運営を平成18年より、相馬市から委託され活動の輪が広がりました。子ども達の豊かな心の育ちのために相馬絵画研究所で長年培ってきた活動に加え、更なる活動の場を提供し14年になります。桜が丘小の放課後児童クラブに加え、平成23年から飯豊小・日立木小・磯部小・八幡小のクラブの皆さんが仲間入り。各クラブとの交流・合同での活動を通して、他地域のひととの出会いの中で、気配りや思いやりの心が育まれ、それが成長していきて、たのしい姿が見られます。相馬こどものみんなの家では、フレンドリーな教室を開催し、安心して子育てを楽しめる場を提供しております。

かがいそうけいきょうしつは、昭和41年に創立して、今年度55周年。NPO法人ふれあいサポート館アトリエとして認定され18年。アトリエは100年から200年物の木のぬくもりのある魅力的な空間・雰囲気のある空間です。その中で3歳児から高校生までが一緒にアトリエを通して学び、絵を描くだけでなく遊びながら成長し合う姿が見られます。相馬絵画研究所30周年を記念し、平成28年に友遊を開業して25年。昨年の大晦日の幕引きで26回やきました。昨年度の3月の修了式と中止、今年度の勉強始めが延期になったのは、東日本大震災の時と2回目。コロナウイルスが歴史に残る禍であることを特記すると共に今までの「あたりまえ」だった生活のスタイルを見直す機会になればと思います。

私たちは、地域に貢献するNPO法人として、教育・福祉・芸術活動と幅広く事業を展開しています。これもひとえに保護者の皆さまはじめ官公庁を含む地域の皆様方の多大なご支援があったからこそ、感謝にたえません。私達の地域一体の活動が地域活性化と皆様方の生活向上に僅かでもお役に立てますよう・・・2021年も新しいアクションを起こし、これからも、みんなが夢と希望に満ちた未来を制作できるアトリエでありたいと願います。

スタッフ一同 イキイキ キラキラ みんな いい笑顔で楽しみながらこれからも歩んでいきたいと思っています。今年も、どうぞよろしくお願いいたします。



かいがそうけいきょうしつのみなさんより



再開出来た親子教室

今年の中央児童センターの親子教室は、コロナの影響で9月からのスタートになりました。始まるにあたって、小さい子ども達を集めて活動しても大丈夫だろうか不安を抱えていました。ですが、遊び場がどんどん閉鎖され、行き場をなくしてストレスを抱えてしまっている親子のためにも、私達が手をさしのべるべきではないかと考え、再開を試みました。親御さんからは、「やっとですね！楽しみです。」と喜びの声を沢山頂きました。対策を行いながら皆さんに気持ち良く参加して頂いています。

子ども達の元気いっぱい遊ぶ姿、お母さん達の生き生きした笑顔を見ると、再開出来て良かったと安堵します。今後も親子共に笑って、リフレッシュの場になって欲しいと思います。

(親子教室担当 ありさ)

陶芸教室で見た子供たちの成長

4月から入会した1年生にとって初めての体験となった陶芸教室。全学年で行うというのも初めての試みだったが皆とても真剣に話を聞き、1年生も試行錯誤しながら一生懸命取り組んでいた。また、2年生以上になると隣に座る1年生に「ここはこうするといいよ!」と教える等、先輩である余裕さえ感じられ、とても頼もしく見えた。

今年度は新型コロナウイルスの影響でイベントが少なくなりましたが、そんなご時世だからこそこの陶芸教室を前々から楽しみにしていた子ども達。今から焼き上がりが楽しみなようで、私自身もとても楽しい時間となった。と、同時にバタバタで時間が過ぎ余裕をもてなかったのも事実。

新年は何事も余裕を持って行動したい…。

(ことりクラブ担当 菜津美)

光子の想い

「あはははは!」と、朗らかに「がはははは!」と、豪快に、時には「うふふふふ!」と、おしとやかに…。デイサービスの職員はとにかく声が大きくよく笑います。するとご利用者様の表情にも自然と笑みがこぼれるのです。「笑い」の効果は本当に素晴らしいですね。

早いもので介護の仕事に就き、7年が経ちました。大変な事もありますが、それ以上に利用者様の笑顔と「ありがとう」の言葉が大きな励みになり今に至っています。

そして何よりも、抜群のチームワーク(別名)熟女パワーの中で気持ち良く仕事ができる事に感謝し、今年もまた新たな笑顔が生まれるよう頑張っていきたいと思います。(ドイツ 光子)

日本伝統の食文化 味噌糀作りと味噌つき体験

おやつには 味噌オニギリ・甘酒 おふくろの味美味しかったよ!

日本の伝統的な味を代表する味噌を12月の16日(水曜日コース)と18日(金曜日コース)の両日、デイサービスのおじいちゃん・おばあちゃんの手ほどきを受け作りました。糀は11日(金曜日コース)から作り始め、少しずつ花が咲き、4日目には満開のお米の花が咲きお花が散らないように管理して16日からの味噌づくりに調整しました。(糀とはお米の花と書きます。)

当アトリエではこの食文化を絶やさず継承できるよう毎年行い、今回で30回目の体験です。子ども達は粘土のような感触に興味深々。楽しみながら意欲的に作業をしていました。おじいちゃんおばあちゃんはその様子を優しく見守っている様子がまた微笑ましかったです。甘酒も作って飲みました。

